

## 令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大桐小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

今年度、運動会や全校遠足や作品展を通して、子どもたちが表現・発表する活動、縦割りで交流する活動の機会を設定できたことは、大きな成果だと考えている。しかし、不登校の問題については、解決に向けて大きく前進するものもあったが、望むような成果をあげられないケースもあった。新たな不登校を生み出さないための取り組みも非常に重要だと考えている。また、全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査、大阪市学力経年調査については、課題の見られるところもあるが学力・体力向上に向けての本校の取り組みが一定の成果となって表れていると捉えている。

## 2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

○ 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。【R4 81.8% R5:79.1% R6:75.0%】【R7:83.6%】○

○ 令和 7 年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より毎年減少させる。【R4:2.9%(21人/727人)R5:3.5%(23人/660人)R6:3.5%(22人/631人)】【R7:4.6%(27人/581人)】▲

○ 令和 7 年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。【R4:31.3% R5:53.3% R6:55.6%】【R7:35.7%】▲

○ 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。【R4:80.5% R5:83.0% R6:84.4%】【R7:84.6%】○

○ 令和 7 年度末の本校児童アンケートで、「学校へ行くのは楽しいですか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。【R4:88.0% R5:88.6% R6:88.4%】【R7:89.0%】○

○ 令和 7 年度末の本校児童アンケートで、「すすんであいさつをしていますか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。【R3:84.0% R4:84.0% R5:84.6% R6:86.9%】【R7:85.7%】▲

○ 令和 7 年度の年度末の校内調査において、遅刻の割合を前年度より少なくする。【R4:2.8% R5:2.0% R6:2.2%】【R7:2.8%】▲ (1月末時点)

○ 令和 7 年度末の本校児童アンケートで「早寝・早起き・朝ごはんを食べることができていますか」の肯定的な回答の割合を前年度以上にする。【R4:79.5% R5:79.9% R6:76.8%】【R7:79.6%】○

○ 令和 7 年度末の本校アンケートで「スマホやゲームについて、家でのルールを守れていますか」の肯定的な回答の割合を、保護者・児童ともに前年度以上にする。

【R4:保護者 65%児童 87%】【R5:保護者 68.3%児童 79.9%】【R6:保護者 63.7%児童 86.7%】【R7:保護者 60.8%↓児童 89.4%↑】

○ 令和 7 年度末の本校児童アンケートで、「友だちの気持ちを考え、よいところを見つけることができましたか」の肯定的な回答の割合を、全学年で前年度以上にする。【R3:81.2% R4:91.3% R5:91.6% R6:90.8%】【R7:92.0%】○

○ 令和 7 年度末の本校保護者アンケートで、「学校は子どもが助け合って活動できるよう指導している」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。【R3:88.4% R4:87.1% R5:85.6% R6:83.1%】【R7:80.8%】▲

○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。【R3:61.0% R4:75.7% R5:77.8% R6:80.3%】  
【R7:81.0%】○

総合的に判断して達成状況の評価に関しては妥当である。今後とも基本的な生活習慣、いじめ・不登校の対応、自己肯定感の向上に向けての取り組みを期待している。

年度目標：【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。【R4:33.7% R5:32.1% R6:35.6%】  
【R7:42.2%】○

○ 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

<国語:R4= 現6年 96.4%>

<国語:R5= 現5年 95.9% 現6年103.4%>

<国語:R6=現4年 99.3% 現5年 97.6% 現6年103.2%> <国語:R7=現4年 99.3%→ 現5年 99.2%↑ 現6年102.6%↓>

<算数:R4= 現6年 96.3%>

<算数:R5= 現5年 96.3% 現6年102.7%>

<算数:R6=現4年 99.7% 現5年 95.6% 現6年101.9%> <算数:R7=現4年101.1%↑ 現5年 97.3%↑ 現6年103.0%↑>

○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというが好き」と回答する児童の割合を85%以上にする。【R4:75.8% R5:78.4% R6:84.9%】【R7:86.7%】○

○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというが好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。【R4:70.7% R5:76.2% R6:69.8%】【R7:68.2%】▲

○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。【R4:68.9% R5:70.4% R6:68.1%】【R7:67.5%】▲

○ 令和7年度の全国学力学習状況調査における平均正答率の対全国比を、前年度以上にする。【R4:89.3% R5:94.1% R6:100.4%】【R7:97.8%】▲

○ 令和7年度の学力経年調査・国語において、「書く能力」領域の正答率を同一母集団で比較し、いずれの学年も昨年度以上か大阪市平均を上回るようにする。

<R4= 現6年33.3%（市52.1%）>

<R5= 現5年41.4%（市57.7%） 現6年76.2%（市49.5%）>

<R6=現4年60.2%（市58.4%） 現5年59.7%（市66.4%） 現6年77.6%（市68.0%）> <R7=現4年75.8%（市71.5%）↑現5年63.3%（市65.0%）↑現6年70.8%（市61.1%）↓>

○ 令和7年度の学力経年調査・算数において、「数と計算」領域の正答率を大阪市平均と比較し、前年度以上か大阪市平均を上回るようにする。

<大阪市平均との差: R4= 現6年-9.5>

<大阪市平均との差: R5= 現5年 6.9 現6年 7.2>

<大阪市平均との差: R6=現4年-6.0 現5年-7.5 現6年 6.5> <大阪市平均との差: R7=現4年 4.0↑ 現5年-4.9↑ 現6年 6.5→>

○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「授業はわかりやすく楽しいですか」の肯定的な回答の割合を前年度より向上させる。【R3:84.0% R4:89.5% R5:87.3% R6:89.3%】  
【R7:88.0%】▲

○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習などを）していますか」と「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

宿題以外に学習<R4= 現6年35.7%>

<R5= 現5年49.5% 現6年34.6%>

<R6=現4年54.7% 現5年32.6% 現6年30.1%> <R7=現4年37.3% ↓  
現5年30.4% ↓ 現6年25.2% ↓>

読書<R4= 現6年79.4%>

<R5= 現5年73.1% 現6年76.6%>

<R6=現4年57.7% 現5年69.8% 現6年67.0%> <R7=現4年59.6% ↑  
現5年59.5% ↓ 現6年54.4% ↓>

○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「楽しんで運動したり、外で元気に遊んだりしていますか」の肯定的な回答の割合を、全学年で前年度以上にする。【R4:87.2% R5:87.3% R6:80.3%】【R7:81.2%】○

○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「給食前や休み時間、そうじの後の手洗いをすすんでしていますか」の最も肯定的な「そう思う」と回答する割合を、前年度以上にする。

【R3:71.3% R4:68.5% R5:62.0% R6:66.5%】【R7:66.7%】○

○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「給食は自分の食べられる量を楽しく食べていますか」の肯定的な回答の割合を、85%以上にする。

（【R3:85.6% R4:87% R5:84.8%】 ← 「すききらいをしないで給食を食べていますか」

【R6:92.2%】【R7:93.3%】○

総合的に判断して達成状況の評価に関しては妥当である。学力向上の取り組みとあわせて、体力向上の取り組みのさらなる推進に期待している。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

<教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進>

○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数の75%以上にする。

【学習者用端末 日別利用率の平均 R5:69.6% R6:77.3%】【R7:79.3%】○

○ 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習で、理解を深めることができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を前年度以上にする。【R4=90.9% R5:84.8% R6:84.8%】【R7:86.1%】○

○ 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習に、すすんで取り組むことができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を前年度以上にする。【R4=86.7% R5:80.7% R6:81.8%】【R7:84.0%】○

<人材の確保・育成としなやかな組織づくり>

○ ゆとりの日を週に1回設定実施する。○

○ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を前年度以上にする。【R3:55.8% R4:56.8% R5:69.1% R6:86.1%】

○ 【R7:77.1%】▲

総合的に判断して達成状況の評価に関しては妥当である。ICTを活用した授業や、教職員の働き方改革を今後とも進めてもらいたい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

令和4年度から実施している大桐小学校の重点7項目「学校に行くのが楽しいと思える」「すすんであいさつができる」「児童の自己肯定感を育む」「早寝・早起き・朝ごはん」「わかりやすく楽しい授業」「読書が好きになる」「楽しんで運動したり、外で元気に遊んだりする」を来年度も引き続き、重点目標として取り組んでもらいたい。

また、いじめや不登校についての対応も適切であった。来年度も子どもに寄り添った対応を引き続きお願いしたい。